

田中廉三

旧名

有木廉三

たなか・れんぞう

ありき・れんぞう

誠之館教師、誠之館同窓会副会長

経歴

生:明治16年(1883年)4月15日、広島県沼隈郡赤坂村(現福山市赤坂町)生まれ

没:昭和39年(1964年)10月26日、享年82歳

明治35年(1902年)3月30日	20歳	広島県立福山中学校(誠之館)卒業
明治36年(1903年)11月18日	21歳	沼隈郡済美高等小学校代用教員
明治38年(1905年)2月22日～ 明治38年(1905年)8月31日	23～ 24歳	広島県立福山中学校(誠之館)教師
明治41年(1908年)7月7日	26歳	国学院大学師範部国語漢文科卒業
明治41年(1908年)9月12日	26歳	福山誠之館中学校(誠之館)国語・漢文教師
明治44年(1911年)7月3日	29歳	福山誠之館中学校舎監(兼)
大正15年(1926年)	44歳	校名変更運動
昭和3年(1928年)1月26日	46歳	同窓会発起人会に在職者を代表
昭和3年(1928年)6月28日	46歳	福山誠之館中学校退職
昭和6年(1931年)	49歳	福山三之丸郵便局長
昭和23年(1948年)	66歳	郵政事務18年間
—	—	裁判所調停委員
昭和29年(1954年)4月25日	72歳	福山誠之館同窓会副会長

生い立ちと学業、業績

旧姓有木氏、明治16年4月15日沼隈郡赤坂村(現福山市赤坂町)に生まれ、後福山市田中家を継ぐ。明治三十五年県立福山中学を卒え、国学院大学に学び、明治41年同校を卒業。

直ちに母校福山誠之館中学校に教鞭をとり青年学徒の育成勉め、昭和3年職を退く。その間氏の薫陶を受けた学徒には、福山商工会議所会頭河相寿太郎、福山市長徳永豊、衆議院議員重政誠之、衆議院議員高橋等、参議院議員重政庸徳、日本電発総裁藤井崇治な

どがおり、今や社会各方面の中堅人物として活躍している。

昭和6年福山三之丸郵便局長を拝命し、昭和23年で18年間郵政事務に尽瘁し、その間方面委員とし民生事業に貢献、現在裁判所調停委員を勤めている。

公職を退いてからは悠々自適、読書に親しみ又囲碁謡曲に余生を楽しんでいる。福山市桜馬場町。 (出典1)

大正7年(1918年)舎長舎監の話し合いの席で、舎監・田中廉三教諭は寄宿舎の運営方針について、つぎの三つの項目を述べている。中庸妥当な方針と言うべきであろう。

(一) 舎風の改善は、舎監と舎生との一致協力にあること。

(二) 各舎監が舎生にのぞむ態度を誤解せぬようにせよ。

(三) 舎長や舎生で、意見のある者は隔意なく申し出ること。 (出典2)

出典1:『政治産業文化備後総合名鑑』、野上五郎・式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和34年9月

出典2:『誠之館百三十年史(上巻)』、949頁、福山誠之館同窓会編刊、昭和63年12月1日

2004年10月27日更新:経歴●2005年1月24日更新:本文●2005年3月7日更新:経歴●2005年4月8日更新:経歴・出典●2006年6月27日更新:タイトル●2007年7月19日更新:経歴●2007年7月27日更新:経歴●2008年4月28日更新:本文●